

経営比較分析表（令和6年度決算）

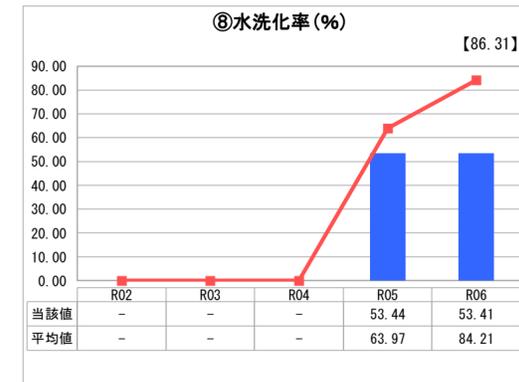
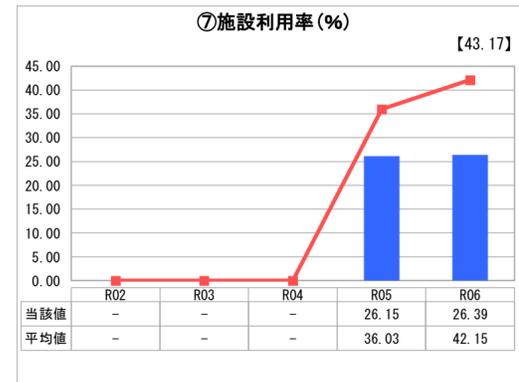
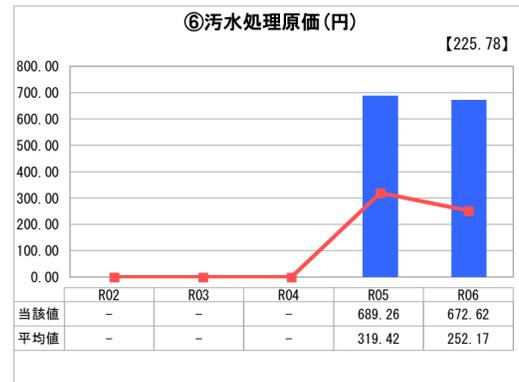
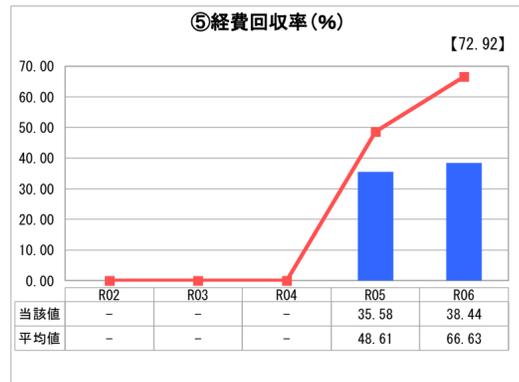
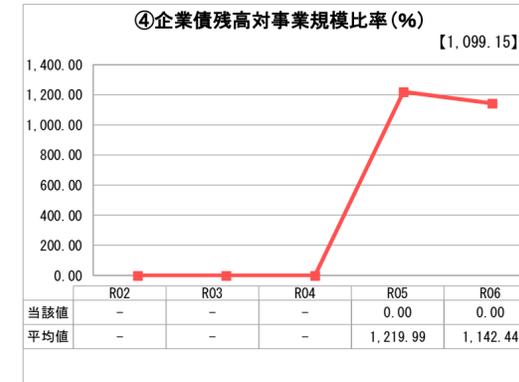
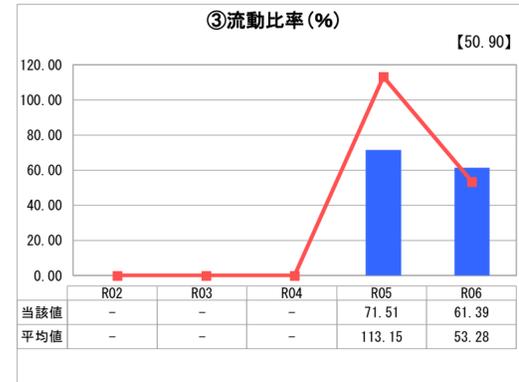
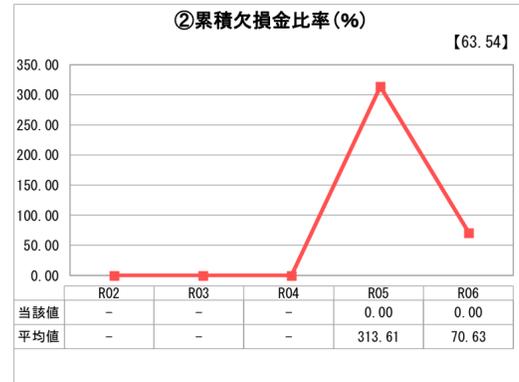
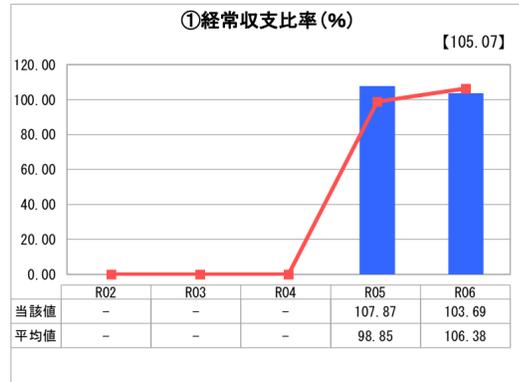
岐阜県 揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	47.59	20.73	100.00	5,720

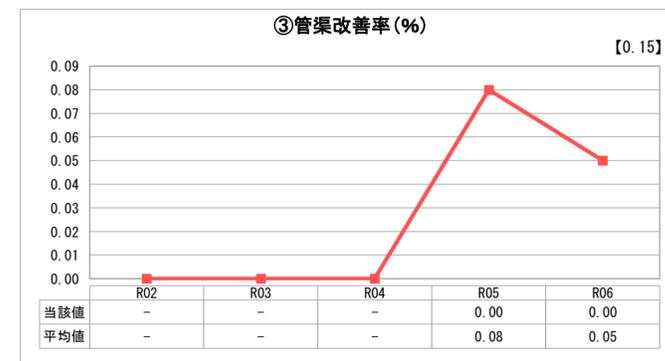
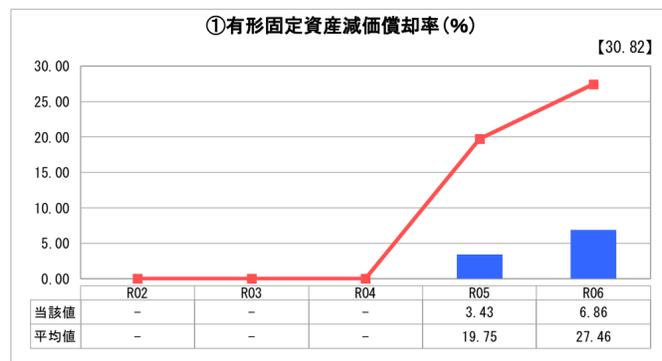
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,633	803.44	23.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,831	1.33	2,880.45

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%以上であるが、一般会計繰入金に依存した状態である。
 ③ 流動比率は企業会計移行2年目であるため留保資金が少ない。
 ⑤ 経費回収率・⑦施設利用率・⑧水洗化率は低く、
 ⑥ 汚水処理原価が高い、これは接続率の伸び悩みが原因である。

引き続き県と町が協力して引き続き下水道への接続のPR等推進に努めつつ、経費削減を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

「脛永処理区」は平成21年度に供用を開始しており、標準耐用年数50年の管渠においては、最も古い管渠で17年を経過し、ポンプ設備などの機械類においては標準耐用年数が15年と短く、令和6年度には標準耐用年数に達した。
 こうしたことから、直ちに更新の必要はないが、今後修繕費用や更新費用の増加も見込まれることから、整備・維持管理・更新をバランスよく進めていくためのストックマネジメント計画を策定し、日常の維持管理で得た情報を無駄なく、効率的に修繕・改築に活かし、計画的な更新に努める。

全体総括

令和2年度で「揖斐処理区」の整備が完了し、令和3年度で浄化センター周辺の修繕工事が完了した。当面の間は一部機器類の更新はあるが、施設改修を伴う多額の企業債の借入予定もないことから、企業債残高は減少していくと考えられるが、今後も借入金の元金償還や施設の維持管理など一般会計からの繰入金に引き続き依存せざるを得ないと考えられる。
 独立採算制の観点から、平成28年度に策定した経営戦略に基づき、少しでも一般会計からの繰入金を抑制するため、未接続世帯に対し継続的な下水道への接続推進を図り、引き続き経費回収率の向上に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。